



世界児童画展で特別賞受賞

藤井麻央ちゃん

「第39回世界児童画展」で、高梁中央保育園に通う藤井麻央ちゃん(5)の作品「まじよのかりんさん」が、特別賞に当たる日本美術教育連合賞を受賞しました。

この世界児童画展は、財団法人美術文化協会が主催しているもので、昭和45年に大阪で開催された日本万国博覧会を機に初めて開かれ、今も

続く展覧会です。3歳から15歳までの幼児、児童、生徒が対象で、作品は国内だけでなく、海外でも募集されます。

今回の第39回・国内の部には、全国から14万3555点の応募があり、麻央ちゃんの作品は、内閣総理大臣賞1点、文部科学大臣奨励賞5点に続く、特別賞75点の一つに選ば

れました。

画用紙いっぱい、絵の具やマジックを使つてのびのびと描かれた絵は、保育園で読んでもらった魔女のカルンさんが活躍するお話から、その姿を想像して描いたそうです。

絵の中央には、赤や黄色、青など色とりどりの風船をいっぱい持つて、小鳥と一緒に気持ちよさそうに空を飛んでいるカルンさんが描かれ、地上にはたくさん赤い花や、テントウムシ、カルンさんの家も見えます。

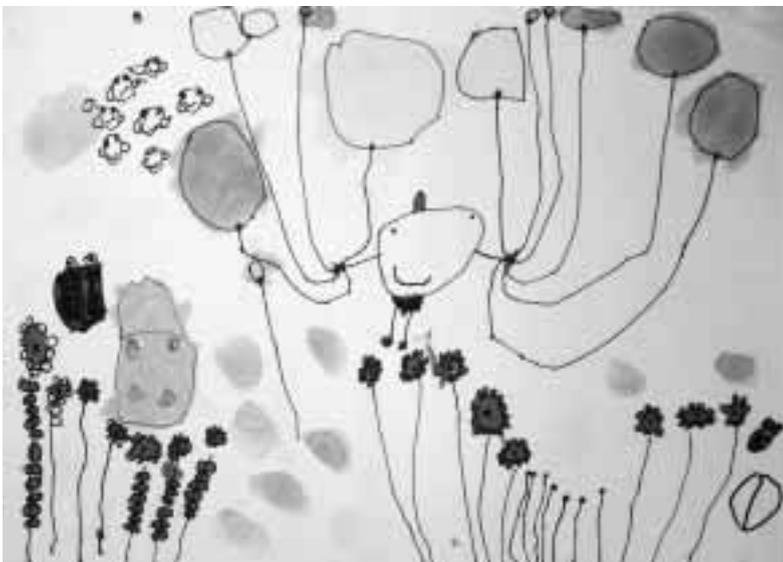
「カルンさんの顔はこんな感じかなとか、おうちにはピンク色かなとか、いろいろ頭で考えて描いたよ。お花はね、きれいに咲いているお花だけじゃなくて、これから咲くお花も描いたんだよ」と麻央ちゃん。

受賞を知った瞬間は、「ドキドキして、ちよつと恥ずかしかった」とか。でも、だんだんとうれしい気持ちになつていったそうです。お母さんの敬子さん(4)も、「受賞と聞いても、最初は全くピンと

こなくて…。時間が経つにつれて、少しずつ実感がわいてきました」と話されます。

3月27日に東京で行われた表彰式には、お父さんとお母さんと一緒に3人で出席、麻央ちゃんにとつても、楽しい思い出の一つになりました。

お絵描きや塗り絵が大好きという麻央ちゃん。「保育園で、みんなと一緒に絵を描くのが楽しい」と、笑顔で話してくれました。



日本美術教育連合賞を受賞した「まじよのかりんさん」



岡山県生涯学習大学主催講座

受講生募集

～ 備中高梁学をたのしむ ～

県教育委員会では、県民の多様な学習ニーズに応えるための場として、「岡山県生涯学習大学」を開設しています。

その主催講座として、吉備国際大学で、大学院コース「備中高梁学をたのしむ」を開催します(8日間・全16回)。

高梁の歴史と文化に関する講座内容です。ぜひ、ご参加ください。

- 会場 吉備国際大学ほか
- 受講資格 原則として、県内に在住および勤務し、指導者・ボランティアとして活躍する意欲のある人
- 定員 20人
- 受講料 2,000円(受講初日に集金します)
- 申込期限 7月3日(金)

※申込方法は、下記へお問い合わせください。申込期限後でも、定員に達するまでは受け付けますので、気軽にお尋ねください。

	前半の講座内容・講師	
	午前 (10:30～12:30)	午後 (13:00～15:00)
7/31 (金)	「画家・清水比庵」 笠岡市立竹喬美術館館長 上蘭 四郎	「板倉家の系譜」 市歴史美術館学芸員 加古 一朗
8/1 (土)	「高梁川の水と自然」 吉備国際大学教授 村本 茂樹	「高瀬舟」 吉備国際大学非常勤講師 松前 俊洋
8/7 (金)	「備中漆」 県郷土文化財団参与 高山 雅之	「国宝・赤韋威鎧」 吉備国際大学教授 臼井 洋輔
8/8 (土)	「城下町としての高梁」 元吉備国際大学非常勤講師 朝森 要	「山田方谷の藩政改革」 岡山済生会総務部長 渡辺 道夫

※後半は、9/4(金)・5(土)・11(金)・12(土)に開講。内容は、下記へお問い合わせください。
※都合により、開催日程が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

■問い合わせ・申し込み 吉備国際大学庶務課(TEL)29454

編集後記

今年の5月、岡山県は記録的な少雨だったそう。高梁の降水量も平年の4割程度とか。夏場の水不足が心配です。

中国地方もやっと梅雨入りし、水不足の心配がなくなる程度に雨が降ってくればと思います。一方で大雨による災害も心配です。今月号でもお知らせしていますが、災害はいつどこで起こるか分かりません。万一に備え、防災マップを活用するなどして、防災に対する認識を再確認していただければと思います。

います。

さて、6月といえば、昨年6月号の表紙「雨上がりの帰り道」が、このほど、自治体広報紙を対象とした「全国広報コンクール」の1枚写真の部で入選することができました。広報担当として受賞は励みにもなります。今後も市民の皆さんに親しんでいただける広報紙となるよう、広報担当3人、ますます頑張っていきたいと思えます。

(YM)

まちの伝言板

本丁土曜夜市



本丁商店会 広報部長
河内方宏さん(41)

成羽の夏の風物詩「本丁土曜夜市」が今年も本丁商店街で行われます。

「毎年この時期になると、地域の子どもたちが、『おっちゃん、夜市はいつあるん?』と笑顔で声をかけてくれるんですよ。おかげさまで、開催を重ねることに仲間が増え、今では他の地域の有志など、たくさんの人を巻き込んで、大いに盛り上がっています」と話す広報部長の河内さん。

き、かき氷、金魚すくいなどおなじみの夜店のほかに、中央メインステージではたくさんさんのイベントを用意し、2日間盛大に開催されます。

「ぼくらが子どもたちのころ、夜市をすごく楽しみにしていたように、今の子どもたちにも楽しんでもらいたい。みんな準備を進めていきますので、皆さん、ぜひ成羽へ遊びにきてください」と河内さん。

詳細は次のとおりです。

▽日時：7月4日(土)、11日(土)

午後6時30分～午後9時

▽主なイベント：子ども神楽、備中温羅太鼓、ジャンケン大会、液晶テレビなどの豪華賞品あり)など

▽駐車場：成羽総合福祉センター

■問い合わせ 河内方宏さん(TEL)22203